

桑野造船株式会社 〒520-0243 大津市堅田 1-21-2 TEL: 077-573-8001 FAX: 077-573-8002  
 URL: <http://www.k-boat.co.jp> E-mail: [kuwano@k-boat.co.jp](mailto:kuwano@k-boat.co.jp)

今月の18~19日に東京で日本ボート協会主催の「ボート人口増大フォーラム」が開催されます。今までの競技ボートに楽しむボートを加えて、総ての人たちがボートに触れあえる環境を作っていく計画のスタートです。スポーツを楽しむ人の笑顔はすばらしいです。一方、冬季五輪がはじまりましたが一流の競技者の引き締まった表情や語りには想いを改めさせてくれるエネルギーを感じてしまいます。フォーラムではいろいろな立場の人が集まってきた議論百出になることを期待しています。我々が今やっているボートを見直す機会にもなり、新しい知恵を得られるかもしれません。皆さんも是非参加されてはいかがでしょうか。【古川】

### 未来に向かって進化

— お客さまの役にたつ存在になる —

- \* 品質 品質、デザイン、価格の総て、ヨーロッパ艇を超える。品質向上でお客さまの期待に完全に応える。
- \* 挑戦 仕事のやり方を変え、時代にあった会社になる。新技術、新工法にたえず挑戦。
- \* スピード 考え過ぎずやってみる。最大のコストである時間を短縮。クルームはその日、その場で処理。

## ◇ボート作りの現場から ~ボートの組立~ 【渡邊】

あらゆる工業製品と同様、ボートの組立においても施工の再現性を高めることが重要な要素の一つです。今回は寸法と接着剤について桑野造船の取り組みを紹介します。

**【寸法】** 組立工程ではハル（外皮）にフレームやデッキといったパーツを接着していきます。このとき、各パーツの位置決めが必要になりますが、当社では組立専用の型を使用することで位置決め再現性向上を図っています。この型は積層で使う型と同様のもので、型の所定の位置に治具をセットすることで常に同じ寸法を得られるようにしています。また、ハル単独ではハニカムサンドイッチ構造を用いても柔軟性があり、型に収めないと“ねじれ”が生じます。『当てにする』という言葉がありますが、ハルを型に当てて安定させているのです。余談ですが、この日本語はモノづくりの現場から生まれたのではと思うことがしばしばです。

**【接着剤】** 型によって安定させたハルに各パーツを接着するとボートとしての剛性が生まれます。規格艇組立の接着剤にはポリエステル樹脂を主材料にしますが、この樹脂の接着性能は作業環境（気温・室温）に大きく左右されます。したがって樹脂メーカーは春・秋用、夏用、冬用を各時期に製造・供給しています。当社では季節毎の樹脂の切替に対応すべく組立ブースの室温調整と硬化剤添加量の加減を行い、接着性能の再現性確保につとめています。



## ◇新製品のご紹介



贈り物に最適な、ミニチュアシリーズの新ラインナップの登場です。ミニオールではお手頃な壁掛けタイプをご用意しました。いずれも銘板を付ける場合は別料金となります。

- ミニオール壁掛けタイプ(A) サイズ: 175×135 ¥9,450 (税込)
- ミニオール壁掛けタイプ(B) サイズ: 350×90 ¥10,500 (税込)
- ミニチュアドラゴン (金属製) サイズ: 580×105×120 ¥36,750 (税込)
- ミニチュアドラゴン (筒入り) サイズ: 340×60×80 ¥21,000 (税込)



## ◇第5回メンテナンス講習会を開催しました

2月3日~5日にかけて、弊社工場において第5回メンテナンス講習会を開催しました。この講習会は修理の基本を覚えていただき、修理を自分で行うことでボートを長く大切に使うという趣旨で毎年行っています。第5回を迎えた今回も全国各地からの参加があり、参加が2回目の方には、レベルアップコースとして、さらに幅広いメンテナンス方法を実践していただきました。今年に限り、3月10日~12日にも同様の講習会を開催いたします。残りわずかですが、定員に空きがございますので参加ご希望の方は弊社までご連絡ください。

## ◇「ボートの最先端情報を知ろう！」開催のお知らせ

主に西日本のコーチのために、ジャンニ氏のテクニックおよびトレーニング理論を、杉藤洋志氏が分かりやすく解説するコーチセミナーが開催されます。また、本セミナーでは弊社から、世界最先端の造船技術についての解説を行います。

詳細は瀬田漕艇倶楽部のホームページ <http://setarc.jp/> をご覧ください。

【日時】2006年3月4日(土) 13時00分~16時30分(途中休憩含む) 【場所】瀬田漕艇倶楽部クラブハウス2階

【テーマ】①最先端トレーニング ②最先端 Boat building ③最先端テクニック 【参加費】1000円

【申込・問合せ】NPO 法人瀬田漕艇倶楽部 E-mail: [info@setarc.jp](mailto:info@setarc.jp) TEL: 077-545-9961 FAX: 077-543-7311

BOAT TIMES の配信停止をご希望される方は、お手数ですが FAX (077-573-8002) 又は E-Mail ([kuwano@k-boat.co.jp](mailto:kuwano@k-boat.co.jp)) で当社までご連絡下さい。また、ご意見・ご感想などもお待ちしております。

お手数ですがボート関係者へお渡しをお願いいたします。